

公益社団法人 東京生薬協会

令和 5 年度

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

事業報告書、計算書類

I 令和5年度 事業報告

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その1）

生薬、薬用植物に関する知識や情報の啓発により、国民の健康増進に寄与する事業を実施した。

1) 薬草観察会 (学術委員会)

① 春の薬草観察会

- ・開催日：令和5年6月3日（日）10:00～15:00
- ・場 所：野川公園（三鷹市、調布市、小金井市）
- ・講 師：磯田 進、南雲 清二、福田 達男(敬称略)

※雨天につき中止

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和5年10月28日（土）10:00～15:00
- ・場 所：野川公園（三鷹市、調布市、小金井市）
- ・講 師：磯田 進、栗原 孝先生、南雲 清二、福田 達男(敬称略)
- ・参加者：48名

2) 薬草収穫感謝の会 (総務委員会)

- ・共 催：東京都、(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、(公社)東京都薬剤師会、本町生薬会
- ・開催日：令和5年11月4日（土）9:45～13:00
- ・場 所：東京都薬用植物園 集会場（林地）
- ・講 師：三宅 克典先生（東京薬科大学准教授）
- ・演 題：薬草と色
- ・参加者：290名受講
- ・入園者：1,050名
- ・記念品配布者数：350名、(お土産袋 350袋)

3) 第38回 生薬に関する懇談会の開催 (学術委員会)

市場に流通する主要生薬について、基原植物、栽培、流通、品質、薬理、臨床などの多面的な視点から研究報告や意見交換を行う場として、産学協同で開催

- ・共 催：日本生薬学会関東支部、(公社)東京生薬協会
- ・開催日：令和5年11月12日（日）12:30～18:00
- ・会 場：北里大学薬学部
- ・テーマ：陳皮及びその他の柑橘類生薬
- ・参加者：170名

4) 薬用植物・生薬・漢方に関する講座 (学術委員会)

会員及び国民を対象に、薬用植物や生薬に対する基本的知識を提供することにより、薬用植物・生薬、薬用植物園などに幅広く興味をもってもらえるよう開催

- ・開催日：令和5年8月～令和5年12月の日曜日（5回シリーズ）
- ・参加費：1回2,500円

開催日	12:30～14:00	14:15～15:45	参加者数
【第1回】 8月20日（日）	シルクロードにロマンをかたる 明治薬科大学 顧問 奥山 徹先生	女性の漢方Ⅲ ヨシコクリニック 院長 高木 嘉子先生	71
【第2回】 9月24日（日）	がんと漢方薬 ～補剤について～ 東邦大学薬学部 名誉教授 小池 一男先生	人体は巨大なネットワーク、漢方管見 いざわ漢法クリニック 院長 伊澤 和光先生	67
【第3回】 10月29日（日）	生薬の基礎から薬膳までⅡ 城西大学薬学部 元教授 白瀧 義明先生	気分面に働く漢方Ⅱ 青山杵淵クリニック 院長 杵淵 彰先生	73
【第4回】 11月26日（日）	植物性生薬の薬用部位について 公益社団法人東京生薬協会 栽培指導員 和田 浩志先生	子育てのための漢方Ⅱ 聖マリアンナ医科大学 客員教授 崎山 武志先生	60
【第5回】 12月17日（日）	生薬のチカラは、漢方のチカラⅣ 昭和大学薬学部 教授 川添 和義先生	OTCとセルフメディケーション 東海大学医学部 教授 新井 信先生	71

5) 第16回 OTC医薬品とセルフメディケーションの啓発活動

（事務局）

- ・主催：（公社）東京生薬協会、（公社）東京薬事協会、
日本OTC医薬品協会、日本家庭薬協会
（公社）東京都医薬品登録販売者協会
- ・後援：厚生労働省、東京都、千代田区、東京都医師会、東京都薬剤師会
- ・開催日：令和5年10月6日（金）～7日（土）
- ・形式：神田明神・文化交流館＋YouTube同時生配信
- ・出展社：32社
- ・内容：出展企業プレゼンテーション（13社）
- ・特別基調対談：尾崎東京都医師会長×樋口千代田区長×藤井実行委員長
- ・参加者：来場者4,000名、サイトアクセス数31,081回

6) 会報の発行（7月、1月）

（広報委員会）

- ・生薬や薬用植物に関する最新情報や薬用植物園に関する情報を提供し、また協会の活動状況をお知らせするために年2回発行し、会員及び大学、関係団体等へ配布した。
- ・発行部数：450部

7) 協会ホームページの更新

(広報委員会)

- ・引続き「季節の花」「イベント情報」「新常用和漢薬集」「薬用植物・生薬・漢方に関する講座」等、各コンテンツにおいて最新の情報提供と内容の充実を図った。さらに「江戸東京きらりプロジェクト」採択に鑑み、プロモーション動画制作と Web 公開を通じ、セルフメディケーションへの取組みの周知につとめた。

前年度（令和 4 年度）にイベント等の全面実施が実現するなどのプラス要因が重なり、ページビュー数が飛躍的に伸びた反動がみられ、対前年度比では約 96%にとどまったが、対一昨年度比では約 146%と、長期的には続伸傾向を維持している。

- ・周知の通り、現在のドメイン名は「tokyo-shoyaku.com」である。従前のドメインは停止済であることにご注意いただきたい。

・表 1：ホームページへのアクセス状況

期 間	ページビュー数
1Q：2023/04/01～2023/06/30	195,803
2Q：2023/07/01～2023/09/30	121,882
3Q：2023/10/01～2023/12/31	146,865
4Q：2024/01/01～2024/03/31	122,061
2023（令和 5）年度 通期合計	586,611
前年度 1Q	168,567
前年度 2Q	146,169
前年度 3Q	167,586
前年度 4Q	131,709
2022（令和 4）年度 通期合計	614,031
対前年度比	95.5%
2021（令和 3）年度 通期合計	401,936
対一昨年度比	145.9%

アクセスの多かったコンテンツ上位 5 項目を「表 2」に示す。

「新常用和漢薬集：個別生薬」および「季節の花」の内訳を、独自の計数システムで継続的にモニタリングしている。これら上位各 10 位を「表 3」「表 4」に示す。

・表 2：令和 5 年度通期 アクセス上位コンテンツ TOP5

コンテンツ	ページビュー数
新常用和漢薬集：個別生薬合計*	279,775
季節の花：すべての合計*	122,082
新常用和漢薬集：目次	36,796
トップページ	21,929
新常用和漢薬集：処方一覧	15,413

・表 3：令和 5 年度通期「新常用和漢薬集」掲載生薬のアクセス TOP10

生薬名	ページビュー数
カンゾウ	11,016
オウバク	9,251
ダイオウ	8,923
マオウ	8,489
ブクリョウ	8,465
オウレン	7,123
ブシ	6,827
キョウニン	6,798
ケツメイシ	6,731
ケイヒ	6,664

・表 4：令和 5 年度通期「季節の花」掲載植物のアクセス TOP10

植物名	ページビュー数
クソニンジン	4,465
ロウバイ	4,285
オナモミ	4,011
サンシュユ	2,580
オタネニンジン	2,396
フデリンドウ	2,369
セリバオウレン	2,361
セツブンソウ	2,261
カノコソウ	2,136
ミミガタテンナンショウ	2,044

8) ふれあいガーデン事業

(事業管理委員会)

東京都薬用植物園ふれあいガーデンの実施

- ・令和5年度は、薬用植物園のサービス向上を目的として、「東京都薬用植物園ふれあいガーデン共同事業体」(公社)東京生薬協会、(公社)東京薬事協会、北部緑地(株)の3者共同事業体にて、園内400㎡を対象に薬用植物に関連した事業。

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	参加者数
4月	22日(土)	コケ玉づくり 新緑編	吉澤 政夫	20
6月	24日(土)	暮らしの中のハーブ	浅井 昭子	27
7月	2日(土)	夏の押し花	半谷京子	27
9月	23日(土)	OTCとセルフメディケーション	新井 信	54
	30日(土)	シーズンリース	田淵清美	30
10月	7日(土)	ハーブ秋冬	浅井 昭子	30
	21日(土)	草木染	山 浩美	20
11月	12日(土)	植物の生き残り戦略	山下智道	43
	19日(土)	落語に見る食の風景その7	一升亭吞介	50
	26日(土)	グリーンアレンジ	田淵 清美	29
12月	2日(土)	まちの植物の冬	鈴木 純	63
	9日(土)	ミニ盆栽づくりイロハモミジ	吉澤政夫	14
	14日(木)	木の実・草の実リース作り	中山 麗子	39
3月	3日(金)	健康講座	東京薬事協会	60

9) 新常用和漢薬集の改訂

(学術委員会)

ホームページ上の新常用和漢薬集に掲載されている生薬を日本薬局方(18局)と照合する改訂作業を実施中。公開品目数は、160生薬。

10) 江戸東京きらりプロジェクト

(事務局)

『生薬(薬草)をよく知って、セルフメディケーションをPR』

・生き生きと健康的な生活を持続し快適な人生を過ごすため、イベント等の機会を通じて、江戸の庶民の暮らしに密着していたセルフメディケーションの実践や、セルフメディケーションに果たす家庭薬など一般薬の役割、それらに活用されている生薬、生薬国内栽培事業の重要性や意義を普及啓発した。

① 薬草クイズ健康ラリー

- ・開催日時：令和5年8月27日(日)
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・参加者：176名

② トークイベント

- ・開催日時：令和5年9月23日(土)
- ・場 所：東京都薬用植物園
- ・講 師：新井 信(東海大学医学部教授)
- ・演 題：OTCとセルフメディケーション

・参加者：54名

③ 協会プロモーションビデオの制作

生薬栽培に関する紹介動画を作成し、WEBサイトに掲載。

④ アンケートの実施：地方自治体にPVを送付し、アンケートに回答いただいた。

回答数：18自治体 興味関心ある自治体に訪問し、主旨を説明し連携協定を推進。

⑤ 事業費（事業に係る経費）は、東京都事務局から支援メンバー（制作会社）に支払われた。

*支援メンバー（制作会社）：事業の内容への助言や遂行のサポートを行う。

■ 1号事業 生薬、薬用植物等の普及啓発に関わる活動（その2）

【東京都薬用植物園受託事業】

（事業管理委員会）

東京都薬用植物園の管理事業の全面委託に伴い、今までの実績を生かして薬用植物や生薬に対する知識・情報を国民に対し正しく普及し啓発する活動を積極的に実施した。

1) 東京都薬用植物園の事業管理

(1) 東京都薬用植物園の総合案内を行った。

窓口対応：開園時間帯における来園者対応：1,072件

電話対応：開園時間帯における電話等照会対応：894件

園内管理：土、日、祝日対応：112日

年間来園者数：102,483人（対前年比99.8%）

(2) 栽培補助業務（標本栽培区、温室、育苗その他）：延べ1,805人/年

(3) 調査研究、鑑定、鑑別補助作業（ケシ、アサ、サボテン類、違法ドラッグ、トウゴマ等農作業補助、データ整理、文献調査、計測等の補助業務）：延べ458人/年

(4) 普及啓発事業（詳細は各項）：31日間実施、参加者数：2,118名

協会の応援人数延べ：71人

(5) 印刷物等作成

植物園案内パンフレット 5,000部

写真で見る絶滅危惧種植物 0部

「四季の薬草」パンフレット 5,000部

講習会等の参加者用資料、掲示用ポスター類 2,371部

野外展示用ラベル及び立て札 350枚

ケシ講座 2,000部

(6) 東京都薬用植物園建物・施設の管理

保守点検：冷暖房、防火設備、ボイラー、電気設備、給水タンク、温室等

栽培管理：沿道植栽樹木、病虫害駆除、通路の草刈等

清掃：薬事資料館、研修室、標本室、トイレ、廃棄物の処理等

警備：薬事資料館、研修室、収納舎、ケシ・アサ栽培区等

2) 普及啓発・研修業務

(1) 薬草教室の開催（会場：東京都薬用植物園）

	開催日	講演内容	講師(敬称略) (所属)	参加者数
1回	4月12日(水)	町は薬用植物園	加藤 久幸 (松浦薬業(株))	64
2回	5月18日(木)	不定愁訴を漢方で治す～ 頭痛・めまい・冷え・神経 症～	新井 信 (東海大学医学部 教授)	79
3回	6月13日(木)	牧野富太郎の生涯	牧野 由美子 (練馬区立牧野記念庭園)	204
4回	7月15日(金)	虫と和解せよ ～葉めくりの虫たち～	とよさき かんじ (日本野虫の会)	73
5回	9月21日(木)	知っておきたい農薬の知 識	倉本 倉司(21世紀の森 と広場・緑の相談員)	56
6回	10月20日(金)	地衣類と私たちの暮らし	加藤 祐一 (日本植物友の会参与)	72
7回	11月15日(水)	東洋医学における養生～ まずは気血水のバランスの 乱れをチェック!	小林 義典 (北里大学薬学部 教授)	97
8回	12月12日(火)	植物が風景を作る～景観 を読み解くみちくさ散歩	佐々木 知幸 (樹木医・ネイチャーガイド)	73

(2) 薬草観察会の開催

① 春の薬草観察会

- ・開催予定日：令和5年6月3日(日)
- ・場 所：野川公園（三鷹市、調布市、小金井市）

※雨天につき中止

② 秋の薬草観察会

- ・開催日：令和5年10月28日(土) 10:00～15:00
- ・場 所：野川公園（三鷹市、調布市、小金井市）
- ・参加者：48名

(3) 薬草の普及啓発講座

	開催日	テーマ	講師(敬称略)	協会	草屋舎	参加人数
4月	22日(土)	楽しいコケ玉作り	吉澤 政夫		○	20
5月	1日～14日	ケシのパネル展	展示	○		-
	5日・6日	ケシのミニ講座	薬用植物園職員	○		233
6月	24日(土)	暮らしの中のハーブ	浅井 昭子		○	27
7月	1日(土)	夏の押し花	半谷 京子		○	27

	29日(土)	夏休み親子植物教室	中山 麗子		○	18
8月	27日(日)	薬草クイズ健康ラリー	東京生薬協会	○		176
9月	23日(土)	OTCとセルフメディケーション	新井 信		○	54
	30日(土)	シーズンリース	田淵 清美		○	30
10月	7日(土)	ハーブ秋冬	浅井 昭子		○	30
	21日(土)	草木染	山 浩美		○	20
11月	12日(土)	植物の生き残り戦略	山下 智道		○	43
	19日(土)	落語に見る食の風景その7	一升亭 吞介		○	50
	26日(土)	グリーンアレンジ	田淵 清美		○	29
12月	2日(土)	まちの植物の冬	鈴木 純		○	63
	9日(土)	ミニ盆栽づくりイロハモミジ	吉澤 政夫		○	14
	14日(木)	木の実・草の実リース作り	中山 麗子		○	39
3月	1日(金)	健康講座	東京薬事協会と共催	○		60

(4) 研修業務の実施

東京都が主催する薬事監視員、警察、薬学生、医学生対象の研修会を補助した。

対 象	開催回数	対象者数
① ケシ特別講座	17回	1,155名
② 薬務、保健所等研修	9回	48名
③ 警察、薬防協等研修	20回	374名
④ 学生研修	5回	2,336名
⑤ 日本薬剤師研修センター漢方認定研修	2回	135名
⑥ 一般(団体)指導	5回	127名

3) 薬用植物の栽培

① 薬事監視業務の一環とし、ケシ、大麻の栽培補助、農作業補助を行った。

② ケシ、大麻以外の薬用植物の栽培管理、農作業全般を行った。

場 所：東京都薬用植物園

期 間：通年

4) 薬用植物の収集、保存及び展示

東京都職員の指示により行った。

① 種子交換：種子調整・整理、交換リスト作成、種子の受付発送を行った。

② さく葉作成：種の同定、さく葉の作成、リスト作成、保管整理を行った。

③ 生薬標本の作成：種の同定、標本作成、リスト作成、保管整理を行った。

④ 資料館に薬用植物の標本類の展示及びラベルの整備を行った。

5) 鑑定、鑑別補助

東京都職員が行う植物鑑定、鑑別試験のために必要な、文献調査、資料の提供及び鑑別用標本の購入保管を行った。

■ 2号事業 生薬、薬用植物等の栽培、育成等に関わる活動

1) 薬用植物栽培技術研修会の開催

(薬用植物国内栽培事業委員会)

①秋田県美郷町

開催日：令和5年10月14日(土)

内 容：・キキョウ根の調製作業

美郷町堆肥センター内にある調製作業場にて、掘り取ったばかりのキキョウ根調製作業根を洗浄する前の根を分割して薬用になる太い根を選別。根の形状がさまざまであるうえに手作業で分別するため、その作業

- ・キキョウマルチ栽培における施肥法(座学) 講師：飯田 修指導員
日本薬局方における「キキョウ」の規格、キキョウ根の調製・加工方法、作業別労働時間、栽培法と課題、病虫害についての詳しい説明と他地域での栽培例紹介
- ・薬用植物の栽培について(座学) 講師：磯田 進指導員
美郷町で栽培されているキキョウ、カンゾウ、ノイバラなどの薬草、ヤナギ、サクラ、ニチニチソウ、イヌサフランなどの観賞用植物から創られる製剤、ダイウイキョウ、アルファルファ、カモミールなどの食材から創られる製剤、麻薬にもなるケシ由来の製剤について詳しい説明

参加者：16名

②岐阜県岐阜市

開催日：令和5年12月22日(木)

内 容：・キキョウの栽培について(座学) 講師：飯田 修栽培指導員

- 1) 日本薬局方(JP18)の規格について
- 2) 生薬キキョウ根の調製・加工の課題(作業労働時間)
- 3) キキョウの各種栽培法と栽培手順
- 4) キキョウの病虫害
- 5) 生産者別キキョウ根収量
- 6) 八峰町、美郷町、杵築市の栽培事例紹介

- ・岐阜市での薬用植物栽培(座学) 講師：戸田 則明指導員

I.キキョウ(ジオウ)栽培における雑草抑制と土壌の改善

- 1) オオムギとビニールマルチの組み合わせ
- 2) 排水良好な農地(田、畑)の選択
- 3) 機械刈り取り

II.キキョウの栽培方法のアイデア(可否)

III.緑肥作物の選択による土壌改良

IV.比較のための反復設定(乱塊法)の必要性

- ・ジオウ栽培 GACP の確認事項の報告 講師：小谷 宗司栽培指導員

参加者：15名

■ 3号事業 生薬資源等の基原・品質・薬理等の調査研究に関わる活動

1) 日本薬局方原案検討委員会に係る活動

(学術委員会)

- ① 生薬等(A)委員会：6月，11月，2月に開催。小栗・神本氏（ツムラ）が参加委員会の議事メモが学術委員会に報告された
新規収載案の主な審議案件は下記の通り

○第十九改正日本薬局方収載予定（施行予定：2026年4月）

- ・ 麻子仁丸エキス【定量，確認試験】

○第十九改正日本薬局方第一追補以降収載予定

- ・ 麻黄附子細辛湯エキス【確認試験】
- ・ 人参養栄湯エキス【定量，確認試験】
- ・ 局外生規からの移行検討実施品目決定：キンギンカ，ショウバク，センナジツ，チクジョ

- ② 生薬等(B)委員会：5月，8月，10月，1月，3月に開催。青木氏（ツムラ）が参加

委員会の議事メモが学術委員会に報告され，試験法案の追試等の対応がなされた
改正案及び新規収載案の主な審議案件は下記の通り

○第十八改正日本薬局方第二追補収載予定（施行予定：2024年6月）

[各条]

- ・ ゴシツ【確認試験】

○第十九改正日本薬局方収載予定（施行予定：2026年4月）

[一般試験法]

- ・ 水の密度

[参考情報]

- ・ HifSA を使用した技術の参考情報新規追加

[各条]

- ・ カノコソウ及びカノコソウ末，キキョウ末，リュウタン【性状】
- ・ バクモンドウ【純度試験】
- ・ アカメガシワ，カシュウ，チクセツニンジン末，【確認試験】
- ・ エンゴサクおよびエンゴサク末【定量法】
- ・ ゴオウ【灰分】
- ・ 麻子仁丸エキス【定量，確認試験】
- ・ 定量用デヒドロコリダリン硝化物，定量用サイコサポニン a，定量用サイコサポニン d，定量用サイコサポニン a,d 混合標準試液，定量用ブファリン，定量用シノブファギン，定量用レジブフォゲニン，定量用ヘスペリジン，薄層クロマトグラフィー用シャゼンシ【試薬・試液】

③ 日本薬局方外生薬規格に関する検討連絡会議

各協会からの改正要望に基づき、主な審議案件は下記のとおり
協会から青木・神本氏（ツムラ）が参加（2023年9月）

[既収載品目]

アキョウ、ガジュツ末、サンシチニンジン末、ニクズク末、チンピ末、トウヒ末、
ヨウバイヒ末、キンギンカ、シャジン、チクレキ、トウドクカツ、マンケイシ、メ
リロート、モッカ、ドベッコウ、ゲンジン、アカメガシワエキス、トウシンソウ、
ハンピ

[新規収載品目]

ガラナ（ガラナシード）、ソウキセイ、タンズシ（タントウシ、ズシ、コウシ）、プ
ランタゴ・オバタ種皮、トシシ、トシシ末、タンチクヨウ

④ 漢方処方原案作成WG

麻子仁丸エキス（全6社）、人参養栄湯エキス（全5社）の規格及び試験方法の検
討結果をWGで報告、当WGでの審議結果に基づき生薬等A委員会で審議、
当協会として、JP17第二追補以降の収載候補品目の全てについて審議に参加
嶋田氏（常磐植物化学研究所）、神本氏（ツムラ）が参加：3回（2023年5月、
8月、2024年1月）

2) 薬用植物栽培連携協定更新

（事務局）

- ① 岐阜市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ② 杵築市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長
- ③ 新潟市、基盤研、公益社団法人東京生薬協会栽培連携協定延長

3) 生薬栽培地視察と情報収集活動の実施

（事務局）

美郷町にて薬用動植物栽培地の視察と記念植樹

- ・日程：令和5年10月15日（日）
- ・見学地：記念植樹（ホオノキ植樹）、薬用植物栽培地見学
- ・交流会：薬用植物等の栽培地等の意見交換
- ・参加者：12名

4) 薬用動植物国内栽培の実施

（薬用植物国内栽培事業委員会）

① 秋田県八峰町薬用植物試験栽培

試作品目：ウイキョウ、カミツレ、キキョウ、シャクヤク、セネガ、トウキ

② 秋田県美郷町薬用植物試験栽培

試作品目：カンゾウ、キキョウ、ノイバラ、ホオノキ、センブリ
津蟹（チュウゴクモクスガニ）

③ 新潟県新潟市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、ハトムギ、エビスグサ、ハッカ、
シャクヤク、オケラ、カンゾウ、オタネニンジン、シソ、

カワラヨモギ、アミガサユリ、シオウ、ジャノヒゲ、キキョウ、
オウレン、ハマボウフウ、コガネバナ、ヨロイグサ、ゴミシ

④ 岐阜県岐阜市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、ハトムギ、カワラヨモギ、シオウ、キキョウ

⑤ 大分県杵築市薬用植物試験栽培

試作品目：ミシマサイコ、ヤマトトウキ、シャクヤク、コガネバナ、カワラヨモギ、ジャノヒゲ、カンゾウ、キキョウ、カノコソウ、ハナスゲ、ベニバナ、ムラサキ、キバナオウギ、メハジキ

5) 薬用作物等地域特産作物体制強化促進・全国的な支援体制の整備事業(国庫補助事業)

(薬用植物国内栽培事業委員会)

① 第1回栽培に関する情報交換検討会

- ・開催日：令和5年5月22日(月)13:30~15:30
- ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田事務所+オンライン
- ・参加者：33名
- ・全国4自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、薬用動植物の国産化率向上を目指し、薬用作物の地域特産作物の生産性の向上や高品質化を図るため機械の改良(電気乾燥機、半自動乗用移植機)と栽培技術の指導及び需要拡大を図った。

② 第2回栽培に関する情報交換検討会

- ・開催日：令和6年2月29日(木)10:00~12:00
- ・場 所：公益社団法人東京生薬協会 東神田事務所+オンライン
- ・参加者：27名
- ・全国4自治体の担当者・技術アドバイザー・農水省が参加し、技術拠点農場の実施結果、事業の評価、事業推進上の課題・対応策等を検討した。

6) 津蟹(チュウゴクモクスガニ)学術研究飼養

(事務局)

第6回稚ガニ放養式典

- ・開催日：令和5年11月16日(木)
- ・場 所：秋田県美郷町千屋字雷電川原 276-1
- ・挨拶：(公社)東京生薬協会 会長 藤井 隆太
- ・挨拶：秋田県美郷町 町長 松田 知己
- ・養殖池に放流指導：株式会社健興通商 代表取締役 傅 健興
- ・主 催：公益社団法人東京生薬協会、株式会社龍角散

■ 4号事業 生薬、薬用植物等に携わる人材の育成に関わる活動

1) 薬用植物指導員認定者のフォローアップ研修

(学術委員会)

既認定指導員を対象に、より実践的に薬用植物に関する説明や案内ができるよう、さらに協会活動により積極的に協力頂くようフォローアップ研修。

① 薬用植物園研修

- ・開催日：令和5年10月28日（土）
- ・場 所：野川公園（三鷹市、調布市、小金井市）
- ・参加者：48名

■ 5号事業 その他、本会の目的達成に必要と認める事業

■ 共益事業

主に会員向けに行われる事業で、会員の親睦や情報交換を図る目的で実施した。

1) 創立70周年記念祝賀会・賀詞交歓会の実施 （事務局）

- ・開催日：令和6年1月29日（月）17:00～20:00
- ・会 場：神田明神会館
- ・開会の挨拶：藤井 隆太会長
- ・第1部 式典：永年表彰受賞者：小根山 隆祥顧問、伊東 宏相談役、上田 博之相談役、岡田 稔相談役、奥山 徹相談役、藤井 隆太会長
- ・第2部 記念講演会：演題：『病家須知』の著者平野重誠に学ぶ近世後期古医方系セルフケア 講師：小林 義典（北里大学薬学部東洋医学総合研究所 所長）
- ・第3部 祝賀会、賀詞交歓会
ご挨拶：武見 敬三様（参議院議員）代理 政務秘書官 田中真一様、樋口高顕様（千代田区長）、小池 百合子様（東京都知事）、尾崎 治夫様（東京都医師会長）、仙波徹様（農林水産省農産局地域対策官）、磯部 総一郎様（OTC協会理事長）、安部 好弘様（日本薬剤師会副会長）、堀内 満也様（八峰町長）、松田 知己様（美郷町長）、永松 悟様（杵築市長）、後藤 雄次様（東京都医薬品登録販売者協会会長）
- ・閉会の挨拶：金原 徳典最高顧問
- ・参加者：120名

2) 薬用植物生け花展・標本展の実施 （事務局）

「薬と健康の週間」（東京都）行事の一環として、主催の薬祖神奉賛会に協力。

- ・開催日：令和5年10月17日（火）
通常例年例大祭時に行っているいけばな展・標本展、子供囃子の各祭事は中止した。

3) MCMIA（現代化中医薬国際協会）との交流 （事務局）

- ・令和5年8月に香港で開催された展示会 ICMCM で東京都薬用植物園、薬用植物国内栽培事業のポスターを掲示し、先方幹部との情報交換を行った。
- ・訪問先：ICMCM 展示会場、衛生局訪問

II. 総会、理事会、委員会等開催

総会	1回	6月					
理事会	2回	6月	3月				
会計、業務監査	1回	5月					
総務委員会	2回	5月	2月				
学術委員会	6回	4月	5月	8月	10月	12月	2月
広報委員会	4回	5月	8月	11月	2月		
事業管理委員会	3回	5月	11月	2月			
薬用植物国内栽培事業委員会	2回	4月	2月				
創立70周年記念事業準備委員会	1回	11月					

III. 会員数及び入退会

1. 会 員：140名
2. 期首会員数：138名
3. 期末会員数：140名
4. 入会（7件）
 - 法人正会員：2名（アスク薬品(株)、日本漢方製薬(株)）
 - 個人正会員：3名
 - サポーター：1名
 - 賛助会員：1名（(一社)日本漢方医学教育振興財団）
5. 退会（5件）
 - 法人正会員：3名（クラシエ製薬(株)、(株)セネコム、青葉山麓研究所）
 - サポーター：1名
 - 賛助会員：1名（姫路市）

以 上